

地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



ふくなが あつし
福永 淳史

1990年生まれ、宮崎市清武町出身。宮崎県立宮崎大宮高校、早稲田大学スポーツ科学部卒業。大学3年次に1年間アメリカ留学を経験。7年間勤務したジェイエイシーリクルートメントにおける地方中小企業との関わりから地方創生に興味を持つ。2021年2月より地域おこし協力隊に着任。「スポーツ×地方創生」をテーマに起業を目指す。小中学校時代はサッカー、高校時代はカヌー競技に打ち込む。

富田浜公園などの新しい利活用を探るための実証実験を一般財団法人こゆ地域づくり推進機構が計画・実施しています。その企画や運営を担う1人が、

① 富田浜公園を活用した 新イベントの企画・運営

地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこのコーナー。今回は2月と4月に新富町へ着任した地域おこし協力隊員と、彼らの活動を紹介します。



福永隊員です。令和3年3月7日に開催した「しんとみラーニングフェス」では、「ヨガ」や「Tシャツお絵かき」など、富田浜公園の空間を使った多彩なワークショップを開催しました。あいくの天候で「民宿初音」を借用しての開催になりましたが、海を眺めながらのひとときを参加者みなさんにはご堪能いただいたと思います。これからの活動もお楽しみください。

② アートの力を まちづくりに活かす



こゆ地域づくり推進機構は、「歩いて楽しむ芸術家まちづくり事業」を計画・実施しています。この事業は、町の何気ない日常生活の空間をアートの観点で眺め、新しい活用を創造しようという取り組みです。

この事業を甲斐隊員が担当しており、着任以降、アカウミガメの保護活動や農作業など、私たちの普通の日常から、新しい何かを発見しようという日々活動しています。甲斐隊員の企画するイベントにご注目ください。

(文責・総合政策課有馬
写真・地域おこし協力隊中山雄太)



1981年生まれ、日向市出身。幼少期から絵を描くことが好きで、大学では油絵を専攻。卒業後は福祉や教育、農業に関わる仕事に従事しつつ、2020年に九州大学大学院芸術工学部緑地保全研究室に研究生として所属。里地・里山や緑地の保全活動などに関わりながら、地方や地域のアート性、内包アートの表現や発信を模索した。2021年4月より地域おこし協力隊に着任。



かい りゅうじ
甲斐 隆児

